

第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会

日時：令和5年3月27日（月）10：00～16：00

場所：エスポワールいわて 大ホール

令和4年度第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会会議録

1 開 会

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

私は進行を務めます、林業振興課の田村でございます。本日はよろしく申し上げます。委員の皆様には御多用のところ御出席いただき誠にありがとうございます。本日はお手元の次第、裏面の出席者名簿の通り、10名中9名の委員に御出席いただいております、本委員会の設置要綱、第6条第2項の規定によりこの会議が成立している事を報告いたします。

尚、野口委員は所用により欠席となっております。また事務局の職員、及び担当者が出席しておりますが、時間の都合上、照会は割愛させていただきます。また新型コロナウイルス感染症対策といたしまして、県の職員は該当事項の説明時のみ入室する職員もおりますので、御了承願います。

それでは会議を進めさせていただきます。今回の委員会は次第にありますとおり、

- (1) 令和4年度いわての森林づくり推進事業の取組状況について
- (2) 令和5年度いわての森林づくり推進事業について
- (3) いわて環境の森整備事業モニタリングの調査報告について
- (4) 令和4年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について
- (5) その他

の5項目を予定しております。

11時15分頃までに議題の3「いわて環境の森整備事業モニタリングの調査報告」までを行った後、一旦非公開といたしまして意見交換を行いたいと考えております。昼食を挟みまして、午後からは再び公開といたします。議題4「県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取」を行いまして、午後4時を目途として終了したいと考えております。委員の皆さんにとっては長時間の委員会となりますがよろしくお願いたします。それでは議事の進行につきましては委員長の國崎委員にお願いいたします。

2 議 題

(1) 令和4年度いわての森林づくり推進事業の取組状況

(2) 令和5年度いわての森林づくり推進事業

(國崎委員長)

それでは、年度末お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。先程、田村主幹からお話がありましたように、今日は議題も多くて非常に長丁場ではございますが、是非有益な御意見をいただければと思っております。よろしくお願いいたします。

それでは、議題の1と2は今年度の各種事業の取り組み状況、それから前年度の事業の取り組みの経過ということで関連しておりますので、一括して説明をお願いしたいと思います。

(林業振興課：澤崎主任主査) 【資料1-1～2-2に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。委員の方はよく御存じかと思いますが、多様な事業を推進しているということで、今年度はいわて環境の森整備事業で12回目の審査を行う事で、目標とする数字に近づいていったというところです。森林作業道整備は、概ね順調、あるいは進捗率100%を超えるような実績が上がってきています。その他のいわゆるソフト事業についても順調に進んでいるというのが今年度の状況だと思います。次年度に向けては、割と項目によって予算額が増えているものもあれば、若干減らされているものもあります。大きなところでは、環境の森整備事業は、森林環境再生造林の要望が大きいということで、配分額が昨年度よりも増えていますし、全国植樹祭の開催準備費は次年度開催ですので、かなり額が増えています。それに対して、木育の推進等につながる県産木材の活用や森林公園機能強化事業は削減というところが大きな変更という風に思います。

また、委員各位に御意見をいただく前に、全国植樹祭実行委員会が動いておりまして、そこに若生委員が出ておられたということを知りました。簡単に結構ですので若生委員の方から、全国植樹祭実行委員会という中でどういった事を議論して委員会を進めているのかということ、御承知の範囲で結構ですので簡単に説明していただければと思います。よろしくお願いいたします。

(若生委員)

それでは委員として出席していて感じた内容についてお話をさせていただきたいと思います。実行委員会では、主に植樹祭の計画と、開催に向けてどのように進めていくのかについて説明があり意見交換をしました。準備段階も含め、森林の大切さ等が県民に向けて広がるような取組、使われた木材も各地域で再利用する取組等の説明がありました。県民税についても、様々な取組により周知につながるような計画となっていました。

(國崎委員長)

ありがとうございました。実行委員会では、全国植樹祭の計画について議論がなされ、事業評価委員会では全国植樹祭での県民税の使われ方について議論したところです。これを踏まえまして、今年度の実績、次年度に向けて、委員各位から率直な意見をいただければと思います。佐藤委員、よろしくお願いします。

(佐藤委員)

森林作業道整備の要件緩和は、具体的にはどのような内容でしょうか。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

延長の要件につきましては、施工地外の延長は施工地内の延長を超えないこととされており、奥地化対策につながっていない現状があります。一方で、例えば1haの施工地のために数百mの作業道を開設するなどといった場合、規模の妥当性について問題があり、延長の考え方を整理する必要があります。費用対効果の考え方を導入する等の方法もありますが、関係者の意見を聞きながら、来年度中には改正したいと考えています。

(佐藤委員)

看守員として山に入る機会が多いのですが、山に行った際に道が壊れていて、行くことが出来ないところがよくあります。壊れないような工法でお願い出来ればと思います。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

地山をなるべく切り取らない工法としております。極力壊れにくいような工法となるよう指導していきたいと考えています。また、事業体から意見を聞き取りながら工種についても増やしていきたいと考えています。

(佐藤委員)

分かりました。ありがとうございます。

(國崎委員長)

他にいかがでしょうか。齊藤委員、よろしくお願いいたします。

(齊藤委員)

全国植樹祭で子どもたちによるダンスイベントがあり、大きな会場で練習したいと思っておりますが、近くの体育館が取れないため、花巻や渋民へ練習に行っており、送り迎えをする親の負担が大きいと感じています。バスを借りる等、会場への移動についても考えていただけるとありがたいです。また、当日はキャパシティの関係により親が見ることが出来ない状況ですが、対応策はありますか。

(全国植樹祭推進室：似内主任主査)

ありがとうございます。2点お話しいただきました。1点目のダンスチームの練習ですが、委員がおっしゃる通り大きい体育館を借りられますので、実際3月18日公開で練習を行いまして、渋民の体育館で行っています。4月には、2回ほど練習を行う事としておりますが、いずれも、ダンスの出演をお願いしているダンススクールさんで通常練習として確保している所ですので、県の方で交通手段を用意しているというところではございません。

2点目ですけれども、親御さんが現場で見たいという話でございます。こちらについては各種方面に調整しておりまして、当日の様子をNHKの方で録画中継するほか、YouTubeでのLIVE配信を計画しております。多くの皆様に植樹祭を御覧いただき、植樹祭の趣旨や岩手のすばらしさを全国、それから岩手の皆さんに伝えていくということでございます。そちらは趣旨に則って進めていますので、引き続きよろしく願いいたします。

(國崎委員長)

他にいかがでしょうか。若生委員よろしく申し上げます。

(若生委員)

J-クレジット制度は、森林が吸収した二酸化炭素について売買する制度であると思いますが、企業にも周知が進むようPRを行った方が良いのではないのでしょうか。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

J-クレジット制度は、適正な管理をしている森林から生まれた吸収源をクレジット化したものですが、制度や審査が少々難解でございますので、制度の説明や、県有林と金融機関との連携した事例なども紹介しながら行っていきたいと考えています。

(國崎委員長)

いかがでしょう、佐藤委員よろしく申し上げます。

(佐藤委員)

林野火災用路網マップは、非常に重要な取組であると思います。林野火災時の消防車の通行、消火資材の搬送、救助活動、津波時にも使え、森林組合等林業を行う人にも役立つものであり、取組を広げて行って欲しいです。

(國崎委員長)

事務局はよろしいですか。

(森林整備課：中嶋主任主査)

釜石市の半島につきましては、路網マップの作成が完了したところです。令和5年度には大船渡市の半島で作成を予定しております。

(國崎委員長)

ありがとうございます。私からも一つ伺いたいのですが、今年度は、3月まで施工地調書の受付を行い、施工地を確保したとのことですが、次年度に提出する予定だったものを出したとも考えられますが、来年度の確保の見込はどのような状況でしょうか。

(林業振興課：澤崎主任主査)

3月の施工地については、林業事業体にもお願いをして確保したものでして、次年度の4月、5月は確保面積が少なくなることも考えられますが、森林管理制度の意向調査等を通じて、県民税を周知する機会もありますので、市町村とも連携しながら確保に取り組んでいきたいと考えています。

(國崎委員長)

ありがとうございます。第3期は600haという計画があるということですので、御苦労は多いかとは思いますが、引き続き施工地の確保に努めていただければと思っております。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。水野委員、よろしく願いいたします。

(水野委員)

全国植樹祭は、岩手県を全国的にPRできる大変良い機会です。県政150周年記念のイベントの一つとして位置づけられていると思いますが、県民税についても、150周年イベントにおいて触れてもらえれば良いと思います。

(橋本林務担当技監兼全国植樹祭推進室長)

全国植樹祭では、県民税のチラシ等も配布してPRに取り組んでいきます。150周年記念イベントについては、県政150周年記念のイベントの一つの取組として全国植樹祭に取り組んでいきたいと考えています。

(國崎委員長)

県民税の認知度については、継続的に40%前後で推移しています。40年から50年に一度しかない全国植樹祭で県民税の周知をすることにより、認知度が上がる良い機会と思いますが、全国植樹祭が終わった時点で、全国植樹祭での県民税のPR効果や、取組について検証が必要と考えています。

各委員の意見をよろしく願いします。吉野委員よろしく願いします。

(吉野委員)

令和5年度の全国植樹祭の予算額は大きいですが、全国植樹祭関係の予算は令和5年度までとなるのでしょうか。植樹という活動は、県民が森に親しむ良い機会ですので、森林を大切に

するという機運も高められる活動であると思います。全国植樹祭後も、植樹に関する支援を継続してはどうでしょうか。

(橋本林務担当技監兼全国植樹祭推進室長)

全国植樹祭の予算は令和5年度までですが、「森の感謝祭」という植樹イベントをこれまで開催してきました。森の感謝祭についても全国植樹祭と同様に、次の世代に森林を引き継ぐという理念で行っており、引き続き植樹活動に取り組んでいくことも考えられます。

(國崎委員長)

大変重要な所だと思います。県民税は、これまで混交林誘導伐がメインでありましたが、令和3年度からは、森林環境再生造林も始まっております。第5期があるかは別として、植樹については、今後どうするか考えていく必要があると思います。続いて、議題の3「いわて環境の森モニタリング調査報告について」事務局より御説明をよろしくお願いいたします。

(3) いわて環境の森整備事業モニタリング調査報告について

(林業振興課：澤崎主任主査) 【資料3に基づき説明】

(國崎委員長)

ありがとうございました。図の8を見ると林内の光環境は、数年間は10%くらいで推移しています。10%もあれば、植被率は50%以上になるのは当たり前という光環境ですが、図の7を見ると植被率は10%程度で推移しており、シカによる食害被害が大きく影響しています。シカ対策は今後、重要になると思いますが、何か今回のモニタリング調査の結果について、質問等ございましたらよろしくお願いいたします。吉野委員よろしくお願いいたします。

(吉野委員)

沿岸南部はシカが多くいますが、シカの食害被害は、森林被害と捉えているのでしょうか。

(林業振興課：澤崎主任主査)

混交林誘導伐を実施したことにより、植栽木は、太く、大きくなり、それにより根系が発達し、地面を掴む力は大きくなっており、混交林誘導伐を実施したことによる効果はあったと考えています。シカの食害被害については、植栽木は枯れていないので森林被害とは捉えていません。

(吉野委員)

森林被害として捉えていなくても、県民税で混交林誘導伐を実施したのに混交林化していません。沿岸地区では、混交林誘導伐を実施してもこの状況が続くのではないのでしょうか。

(國崎委員長)

県において100林分のモニタリング調査を実施していますが、全県でみると混交林化していない林分は数%であり大きな影響はありませんが、沿岸は混交林化していない林分は多いと考えられ、何らかの対策を検討する必要があると思います。

(吉野委員)

対策となるとどういったものがありますか。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

様々ですけれども、これについて第二部（非公開部分）の方から相談ありまして、そこでまた御意見をいただければと思います。

(國崎委員長)

いったんこの議題の3までということで、第一部の午前中の部をここで終わりにさせていただきたいと思います。一旦、田村主幹にお返しいたします。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

ここで、いったん公開の委員会は閉じさせていただき、非公開の意見交換を行いたいと考えております。マスコミの皆様につきましては、誠に恐縮ではございますが、非公開となりますので、よろしく願いいたします。午後1時から再度、公開の形で、議題4「令和4年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について」を行いますので、よろしく願いいたします。

(4) 令和5年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について

(國崎委員長)

次に議題(4)「令和5年度県民参加の森林づくり促進事業企画採択に係る意見聴取について」です。審査については、事業区分ごとに4から5件ずつまとめて行います。事務局から説明後、その内容について御質問、御意見を伺う流れで行います。まず、今回の募集の方法等を含め、事業区分「森林整備」の1番から4番の説明をお願いします。では事務局の方から御説明をよろしく願いします。

(林業振興課：木村主事) 【資料4に基づき審査番号①～④まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。1番から4番まで御説明いただきました。4つの団体さんは何回も実績のある団体さんです。額も、100万円目一杯というよりは、比較的低額のところで予算を見積もって申請されています。何か御質問御意見等ございましたらよろしく願いいたします。佐藤委員よろしく願いいたします。

(佐藤委員)

審査番号4番の生母生産森林組合さんの企画書と一覧表を見たのですが、一覧表の方に事業名の中に忌避剤とあるのですが、忌避剤というのはどのあたりに載ってくるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

大変失礼しました。事業名は、企画書4番に記載してあります「ボランティア等による下草刈り等の森林整備活動」と訂正させていただきます。失礼しました。

(佐藤委員)

ありがとうございます。

(若生委員)

他いかがでしょうか。若生委員よろしくお願ひします。

(若生委員)

小学校は統廃合があるので、事業について周知をし直してもよいのではないのでしょうか。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいですか。1番から4番については御意見いただきました。そうしましたら、5番から9番について御説明をお願いします。

(林業振興課：木村主事) 【資料4に基づき審査番号⑤～⑨まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。5番から9番までですけれども、8番目の田野畑村の取組は新しい企画ではありますが、他の団体さんは複数回過去の実績がある団体さんでございます。5番目の団体さんはこれも人材育成ということで事業実績がある団体さんで、6番目の団体さんも採択回数が16回ということで、長きに渡って活動をされている団体さんです。7番目の団体さんは、松茸山をつくるということで取り組まれていらっしゃるということで、前年度に比べると額も増えています。8番目の団体さんは、新しい事業となっております。9番目の久慈ラボさんもかなり長くこの活動をされているということで、平庭高原に白樺やつつじを植えるといった活動をされているということで、以上5件となりますので、御意見等ございましたら、どこからでも構いませんのでよろしくお願ひいたします。

(村中委員)

どの案件ということではないのですが、採択回数が多い団体が、県民税により活動が行われていることをどれくらい意識し、PRしているのでしょうか。県民税を多く使っている団体が自らPRすることで、参加者や民間への周知につながるのではないかと思います。例えば生母

生産森林組合の通信に、県民税が使われていることが書いてありますが、参加者には伝わっているのでしょうか。

(國崎委員長)

県民税を活用してというのをPRするというのは、これまでも出てきているところなので、のぼりを貸し出すなど、事務局で把握されているものがありましたら、紹介していただければと思います。

(林業振興課：木村主事)

チラシや広報を作っている団体には、県民税を使っていることを記載するよう依頼しています。市町村広報や新聞に掲載された取組もあります。今後も振興局と連携し、県民税の周知について指導していきたいと考えています。

(國崎委員長)

今日は振興局の方たちも来ていただいていますので、団体さんがこのようにPRしているということ例があれば御紹介いただければと思いますが、何かありますでしょうか。

(県南広域振興局林務部：金田上席林業普及指導員)

生母生産森林組合では、市の広報に掲載依頼し、独自で作っている広報誌にも県民税のPRをしています。企画書4の写真にあるように県民税を活用している趣旨の看板やのぼり旗を設置し、月山神社の参拝客やキャンプ場の利用者にPRしているところです。

(國崎委員長)

他の方で紹介できる方いらっしゃいますか。お願いします。

(県北振興局林務部：田澤技師)

のぼり旗、横断幕の設置、チラシ、独自広報誌に県民税のことを記載しています。新聞にも投込みをしていますが、紙面の都合で「県民税を活用している」旨の記載が省略されることもあります。

(國崎委員長)

ありがとうございます。それぞれで工夫をされていらっしゃるということでしたけれども、新聞等ではなかなか見えにくくなっていたりしますので、伝わるように工夫いただければと思います。いかがでしょうか。5番から9番にかけて、御意見ございますか。水野委員お願いします。

(水野委員)

企画書8のツツジの苗木の値段が10本の場合と150本の場合とも同じ額ですが、多く買え

ば安くなるのではないかと思うのですが、どうでしょうか。

(國崎委員長)

振興局の方がよろしいですかね。田野畑村担当の方はいらっしゃらないですか。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

実施の段階で複数見積をとるように指導します。

(水野委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

苗木ですと、複数見積でもなかなか安くならない可能性もあるかと思うのですが、複数見積を取っていただいて適正な価格というので実施されればと思います。他いかがでしょうか。橋浦委員お願いします。

(橋浦委員)

企画概要書で補助対象額の表の備考のところ、空欄のところがいくつかございますよね。きちんと書かれているところもあれば、空欄のところもあるので、きちんと揃えていただいた方が良くと思います。

(林業振興課：木村主事)

御指摘のとおり今後記載するようにいたします。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいですか。佐藤委員よろしくお願いたします。

(佐藤委員)

6番の森を考える会で、活動状況が分かりづらい部分がありましたので、写真等を付けていただきたいです。

(林業振興課：木村主事)

ありがとうございます。御指摘いただきましたとおり活動実績が分かりやすくなるように報告いたします。

(國崎委員長)

こういうのが得意な団体さんもいらっしゃるかと思いますが、そうでない団体さんはかなり

悩まれるかと思しますので、分かりやすくというところで御指導いただければと思います。

5番から9番までについてはよろしいでしょうか。それでは次に進めさせていただきます。続いては人材育成で4件ほど並んでいますので、10番から13番まで御説明をお願いします。

(林業振興課：木村主事)【資料4に基づき審査番号⑩～⑬まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。人材育成の企画でございます。10番目の団体さんもこれまでで8回の採択ということで、過年度の実績なども踏まえながら見ていただければ、参加者も増えているということですが、経費は14万円ほど抑えてきているということで、現実的な見直しをされてきているのかと思います。11番の団体さんは最初の方から出されてきていて、人材育成、チェーンソー講座ということで、育成に取り組みされている団体さんが応募されてきています。それから、12番目の団体さん前年度に申請がなかったのですが、今年度申請されてきているということで、報償費が外部専門家の方の費用が過半数というようになっています。13番目は新しい団体さんで、チェーンソーの安全な使い方等、自伐型林業の人材を育成する事業ということで、新しい団体さんとなると機械設備等揃える部分で、若干額も多くあるかなと思います。以上、4団体ですけれども、御意見・御質問等ございましたら、よろしく願いいたします。齋藤委員よろしく願いいたします。

(齋藤委員)

企画書11と13で報償費の額に開きがあるがあるのですが、理由があるのでしょうか。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

11番の森林再生研究会は、活動がすごく長く、ここで育った人たちがそれぞれのスキルを上げて、会員の人たちが教えるという形をとっていて、他の団体とは違う特徴があるところあります。

(國崎委員長)

人材育成のなかでも、先程お話しあったように団体さんの中に講師を出来る方がいらっしゃる団体さんとあまりいらっしゃらなくて、外部から来ていただいて教えを乞うという団体さんもいらっしゃって、色んな団体さんがあるので、11番の団体さんは経験が豊富な方がいらっしゃって、講師もできるという方が沢山いらっしゃるの、計上しなくても大丈夫ということですね。

このように率直に意見を言っていていただければと思います。他にいかがでしょうか。佐藤委員よろしく願いいたします。

(佐藤委員)

審査番号12番の吉里吉里国さんですけれども、役務費ですが、参加人数のべ数が、125名に

対して、計算では5名となっていましたので、皆さんに行き渡るのが心配になったのですが、座学の部分の保険料は入っていないということでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

参加予定者が5名となっているので、参加者のみの保険を計上しているということで、振興局の担当者から話は聞いておりました。

(佐藤委員)

参加予定者ベースの125名は、どこからきた数字ですか。

(沿岸広域振興局農林部：新井主査林業普及指導員)

125名の延べ数ですけれども、事業内容の林業学校が全部で2日間、こちらを足しますと25日間あります。3ヶ月の参加予定者が5名ということで、掛けさせていただいて125日というふうになってございます。

(佐藤委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。慣れていらっしゃる先生方も、遠慮なく何かございましたらお願いいたします。水野委員よろしくお願いいたします。

(水野委員)

先ほどの吉里吉里国さんについて、一応予定で5人ということでやられているのですが、実際にやってみたら、参加者が1人2人しかいなかったとことはないことでよろしいですか。

(沿岸広域振興局農林部：新井主査林業普及指導員)

今まで吉里吉里国さんの方で、独自に講習会等を開催されておきまして、その中で、林業学校にも参加いただける方も既に見通しが立っているというふうになってございますので、参加者が1人か2人ということにはならないと思っております。

(水野委員)

今までやっていた事業というのは、吉里吉里国さんの方で報酬等をとってやっていたということでしょうか。

(沿岸広域振興局農林部：新井主査林業普及指導員)

はい。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。そうしましたら、10番から13番については以上とさせていただきます、森林環境学習というところにはいっていきますので、まずは14番から17番まで事務局から御説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料4に基づき審査番号⑭～⑰まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。

森林環境学習のところですけども、14番の団体さんは森インストラクターの方々の企画ということで、採択回数は、過去1回ですけども、そういった森に親しむっていう活動の指導ができる方々の団体さんが、出してきた企画ということでございます。15番は、かなり長く活動していただいている団体さんで、36万円ということでかなり現実的に計画されたのかと思います。16番目の団体さんこちらの団体さんももう割と長く、継続的に申請していただいている団体さんでございます。17番目、こちらも過去13回の採択ということで、長く同様の活動を継続されている団体さんでございます。御質問・御意見等ございましたら、よろしくお願ひいたします。稲村委員よろしくお願ひいたします。

(稲村委員)

ありがとうございます。計画が変更となった場合の手続きや、事業完了後に報告書の提出はあるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

基本的に事業の活動実績報告っていうのは、提出していただくことになっております。当然コロナ禍等で、事業の計画とは違う形で事業を実施することになるというケースもあるのですが、適時補助対象経費減額で交付決定手続きをして、適正に事業を実施するような形をとっております。

(稲村委員)

そうすると、実際かかった経費に関しても精査をして、確認されていますか。

(林業振興課：木村主事)

御指摘の通りです。

(稲村委員)

当初予定より少なかった場合の扱いはどうなるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

手続きの話になるのですが、事業変更する段階で変更手続きを振興局通じて実施することになります。計画のどの部分を変更するのか、改めて精査し、事業を軌道修正して実施するという形でそれに基づいて実績を上げていただく形になっております。

(稲村委員)

分かりました。ありがとうございます。

(國崎委員長)

ありがとうございます。田村主幹お願いします。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

最後は検査という形で、書類をいただきまして、かかった経費を通帳等いただきまして、適切に精算という形で整理しております。

(國崎委員長)

御意見御質問等よろしくお願いいたします。よろしいですか。そうしましたら、4団体についてもここまでとさせていただきたいと思っております。15分ほど休憩として、再開を14時10分ということにさせていただきます。

(休憩)

(國崎委員長)

はい、そうしましたら14時10分になりましたので再開いたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料4に基づき審査番号⑱～㉑まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。18番目のノースジャパンさんですけれども、過去の採択件数は10回ということで、県民の森での大きなイベントであり、引き続き申請ということで、多数の来場が見込まれる企画かなと思います。19番目は、過去の採択回数は1回ですけれども、昨年上がってきたことは、記憶しております。盛岡城跡公園を利用した森林環境学習ですが、昨年度よりも10万円ほど上がっていますが、それは実態を考慮して認知度が上がっているということですので、現実的な観点からの増額かと予想しています。20番目も、過去の採択回数が10回ということでかなり長く活動している団体さんで、例年並みの予算で今回も企画が挙がってきているというものでございます。21番目も以前から、申請していただいている団体さんで、若干額が減っていますが、現実的なところを見ての修正かなと思います。以上の4件について、御意見や御質問等よろしくお願いいたします。若生委員よろしくお願いいたします。

(若生委員)

企画書 19 のツリークライミングの傷害保険の費用がスタッフのみですが、参加者の加入はどのようになっていますでしょうか。

(盛岡振興局林務部：松尾主任)

ツリークライミングに参加する予定の方の保険ということでしょうか。

(若生委員)

森にあるもので遊んだりするときには、特段保険をかける心配はないと思うのですが、高いところまで登るといふこともある活動なので、その時には皆さんの保険をかけることもしていただければいいかと思いましたが、確認できればと思います。

(盛岡振興局林務部：松尾主任)

参加をする方の保険料につきましては、1人100円ずつ回収し、当日集金するという風にお聞きしていました。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。よろしいですか。22番から25番について説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料4に基づき審査番号⑳～㉔まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。22番一関市は、採択回数が0回ということで、初めての申請かと思えます。これも40万円ぐらいということでいろいろと検討されたのかと思えます。23番目の遠野市ですけれども、過去の採択回数が17回ということで、長く事業に申請しているところですが、概ね前年度並みということで、波及効果があるということでこういった活動をぜひ継続して欲しいというような声が上がっているところでございます。それから、24番はこちらも新しい団体さんで、4万円弱ということで、何か必要だったりとかしないのかというところで、何か御意見等ございましたらお願いしたいと思えます。25番目についても同様の活動ということで、長く申請して来ていただいているところです。単なる製品設置に限らず、森林や木材への理解を深めるような企画になっているということでございます。何か御質問、御意見等ございましたら、よろしくお願ひいたします。

私の方から、24番の新しく申請された団体さんのものなのですが、参加予定者数は10名ということで、SNSや広報による周知で、呼ぶということが書かれてあるのですが、ある程度参加者がいた場合、バスの借上げをする等参加者の足を確保するといったことも必要かと思えますが、この10名程度であれば何か特に問題なく集まって、活動ができるから、4万円弱ということでよろしかったでしょうか。

(沿岸広域振興局農林部：新井主査林業普及指導員)

参加者の現地までの移動方法は、参加者の方が直接集合して、そこから移動というような形ではないかと考えております。したがって、バスの借り上げが必要ない内容ではないかと思われれます。

(國崎委員長)

若生委員からお願いします。

(若生委員)

今回、沿岸地域の申請がたくさんあっていいと思いました。今回やってみて、修正できたら、次年度以降にまた申請してもらおうというのがいいと思います。

(國崎委員長)

私も同様に考えていて、頑張りすぎずに結果的に少額でもできるところからやっていただいて、広がりとか或いは連携というようなことを考えていただくという意味ではいい企画かと思いました。水野委員、よろしく願いいたします。

(水野委員)

25番の宮古市さんですけれども、1ページ目の補助対象経費が今年度77万5,580円となっていますけれども、7ページの経費内訳見ると、おそらく補助対象額は39万2,380円じゃないですか。

(林業振興課：木村主事)

県の補助対象経費ということでしょうか。

(水野委員)

それが1頁目の補助対象額ですよ。補助対象外を除いたものだと思うのですが、77万5,580円っていうのは、この事業の総額で補助対象額が、38万3,200円あるので、1ページ目の補助対象額もそれを除いた額になるのではないのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

1ページ目の方は、事業費の金額の記載になっておりました。大変失礼いたしました。

(國崎委員長)

ということで、実際は40万弱ぐらいの補助予定の企画であるということでした。よろしいでしょうか。佐藤委員。

(佐藤委員)

審査番号 24 番ですけれども、構成員数 3 名とありますが、企画採用者の最低の人数の規定はあるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

今の要領ですと、人数の制限は特に設けておりませんが、より多くの方幅広い方々に参加できるような企画にしていきたいなというところではございます。

(佐藤委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

続いて齋藤委員、よろしくお願いいたします。

(齋藤委員)

ありがとうございます。22 番の一関市の事業内容を見ると採択回数ゼロにしては、すごく内容が詰まっているというか、実践経験があるのではないかと見受けられますけれども、こういう企画をやった経緯というのはあるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

採択回数ですが、企画書 2 号の方では、6 回で申請上がってきているのですが、今年度は県産木材の利用の枠で事業実施している経緯がございますので、採択回数は 1 回となります。大変失礼いたしました。

(齋藤委員)

ありがとうございます。

(國崎委員長)

他いかがでしょう。よろしいですか。ということで、22 番から 25 番についてはここまでとさせていただきます。続いて 26 番から 29 番の 4 件について説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料 4 に基づき審査番号⑳～㉑まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。26 番は、初めての申請ということでございますが、事業の内容としては、森林環境学習とツリークライミングということで、事業計画を見ると、ツリークライミングをメインとしながら、併せて森林環境学習も開催するというような企画となっております。27 番目は過去 10 回の採択回数ことで、長く同様の企画ということで、大体前年度並みの

予算で上がってきています。28番目は、採択回数2回ということで今年も申請をいただいているということで、予算も概ね前年度並みとなっています。29番目ですけれども、過去10回の採択ということで、長く申請し続けている団体さんでございます。やはり前年度並みの予算で申請されています。ということで、以上4件となります。御意見・御質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。

(若生委員)

企画書26番は、子供達の遊びの新たな拠点になるのではと期待していますが、ツリークライミングの道具を一式揃える取組なので、今回限りの活動とならないようにお願いしたいです。

(國崎委員長)

振興局の方から補足説明あったらお願いします。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

活動について今回限りではなく、継続していきたいという意向は、聞いておりましたので、その旨記載するように指導したいと思います。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他、いかがでしょうか。吉野委員、よろしくお願いいたします。

(吉野委員)

外部講師を呼ぶ際は、氏名を記入することとなっていますが記載がありませんので、記載していただいた方が良いでしょう。

(宮古農林振興センター林務室：中村技師)

団体に確認しまして、記載していただけるように指導していきたいです。

(國崎委員長)

他いかがでしょう。よろしいですか。26番から29番の4件については、以上とさせていただきます。それでは、30番31番という2つの団体さんの企画が上がっていますので、説明をお願いいたします。

(林業振興課：木村主事) 【資料4に基づき審査番号⑩～⑳まで説明】

(國崎委員長)

ありがとうございます。30番は過去3回ということで申請してきているのですが、県産材利用のところは必ずしも100万円が上限じゃない項目がございますので、この盛岡市の方は上限

が250万のところで申請が上がってきているところでございます。それから、31番は、木製ベンチを設置ということで、今回新たに上がってきた申請でございます。質問御意見ありましたら、よろしくお願いいたします。

(若生委員)

企画書31は、ベンチの設置とありますが、木材利用について、どのように普及啓発していくかについて記載がありません。どういったことをされるのでしょうか。

(國崎委員長)

何か報告ありますか。

(花巻農林振興センター：中村上席林業普及指導員)

森林公園では、四季を通じて森林体験学習を続けています。特に夏と冬のイベントは人気です。木材利用の宣伝について、表示するよう市に指導したいと思います。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

企画書30の盛岡市の取組は県産材利用促進で良いことですが、市町村には森林環境贈与税が入るようになってきましたので、譲与税での整備も考えられると思いますが、県民税と譲与税の棲み分けについて御教示いただければと思います。

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

委員長御指摘の通り、採択にあたって内部で揉んだわけですけれども、県民税第4期に移るときに、単なる木材利用じゃなく、県民税の木育というところで一旦整理したところがございます。しかし、市町村によっては、譲与税は市町村が決めることができるということで、県民税との棲み分けというのは市町村では、全く考えていないということでもあります。

受益者は県民ということでありまして、木育については、県民税は棲み分けていかなければならないと思う一方で、潤沢な財源を市町村に持ってきたわけですから、例えば満額出すのではないという選択肢も、考えていかなければならないのではないのかと思います。今回募集するにあたり、いきなり市町村は落としますというような乱暴なやり方もなかなかできないでしょうから、来年度に様々な市町村と意見交換する場がございますので、そういうところをお知らせしながら、今後のその支援のあり方っていうのを、この評価委員会でも御協議いただいて決めていければと考えております。

(國崎委員長)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。齊藤委員よろしくお願いいたします。

(齋藤委員)

30番ですけれども、木製品の設置が3年目ということで、計画のようなものはあるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

企画が上がってきた段階では、今年度までの3カ年の計画で設置すると聞いています。

(盛岡振興局林務部：松尾主任)

今年度に関しましては、丸太を渡っていくような遊具で、令和4年度につきましては、坂にロープがついていてそれを登っていくような遊具をイメージいただけますでしょうか。あれを作って設置したということで、完了検査で確認しております。

(國崎委員長)

齋藤委員よろしいですか。

(齋藤委員)

例えば3カ年計画というお話であったので、県民税を使って増やしては認めてというのを、繰り返す予定で考えているのか疑問だったので、お聞きしたところでした。

(盛岡振興局林務部：松尾主任)

盛岡市からは、令和5年度までで、幼児用遊具の広場の整備を行っていきたいということで聞いております。ですので、来年度以降にならないと分からないのですが、当初の計画では、令和5年度までということで伺っているものです。

(國崎委員長)

例えば、3年計画の1年目であるという形で記載いただくと、単年度で何となくではなく、考えているということが分かるので、何かそういった形で無理のない範囲で、記載の方法の御指導できる場面ありましたら、よろしく願いしたいというふうに思います。他いかがでしょうか。よろしいですか。そうしましたら、30番31番については、以上にさせていただきたいと思います。貴重な御意見等をいただきまして、ありがとうございました。

(5) その他

(國崎委員長)

議題の5「その他」ですけれども、事務局から何かございますか。

(林業振興課：澤崎主任主査)

次回日程、及び設置要綱の条例化に伴う委員継続の御連絡をいたします。

来年度最初の評価委員会は6月中旬に開催する予定です。第4回の委員会でお話ししました

設置要綱の条例化に伴う委員の継続については、4月1日付で、辞令書を送付いたしますので、引き続きよろしく願いいたします。

(國崎委員長)

出席の委員の皆様からは何かございますか。齊藤委員よろしく願いいたします。

(齋藤委員)

県民参加の森づくり促進事業の応募団体については、すべて採択されているように見受けられるのですが、採択とならなかった事例もあるのでしょうか。

(林業振興課：木村主事)

今回上がってきた企画については、事務局案としては採択の方向性で不採択とした団体はございません。

(國崎委員長)

過去には数件事例はありました。経費の調整が行われた事例も時々見られました。

(國崎委員長)

他いかがでしょうか。よろしいですか。それでは、以上を持ちまして議事を終了いたします。事務局にお返しします。御協力ありがとうございました。

3 閉会

(林業振興課：田村技術主幹兼振興担当課長)

國崎委員長、長時間にわたり円滑な議事進行について大変ありがとうございました。

委員の皆様につきましても、長時間の御審議大変ありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度第5回いわての森林づくり県民税事業評価委員会を閉会いたします。本日は、大変ありがとうございました。